

令和2年度予算「自治体AI共同開発推進事業」 「地方公共団体におけるAI活用に関する調査研究」実証グループ一覧

計3グループ[°]（8団体）

※応募件数：計9グループ[°]（27団体）

● AIを活用したクラウド型スマート窓口の共同システム 開発事業

- ・埼玉県戸田市（◎）
- ・埼玉県川口市
- ・株式会社三菱総合研究所
- ・株式会社グラファー
- ・日本ビジネスシステム株式会社
- ・ネットワンシステムズ株式会社

● 固定資産税における航空写真AI解析クラウド実証

- ・群馬県前橋市（◎）
- ・群馬県高崎市
- ・群馬県伊勢崎市
- ・愛知県豊橋市
- ・日本電気株式会社

◎が各実証グループの代表団体

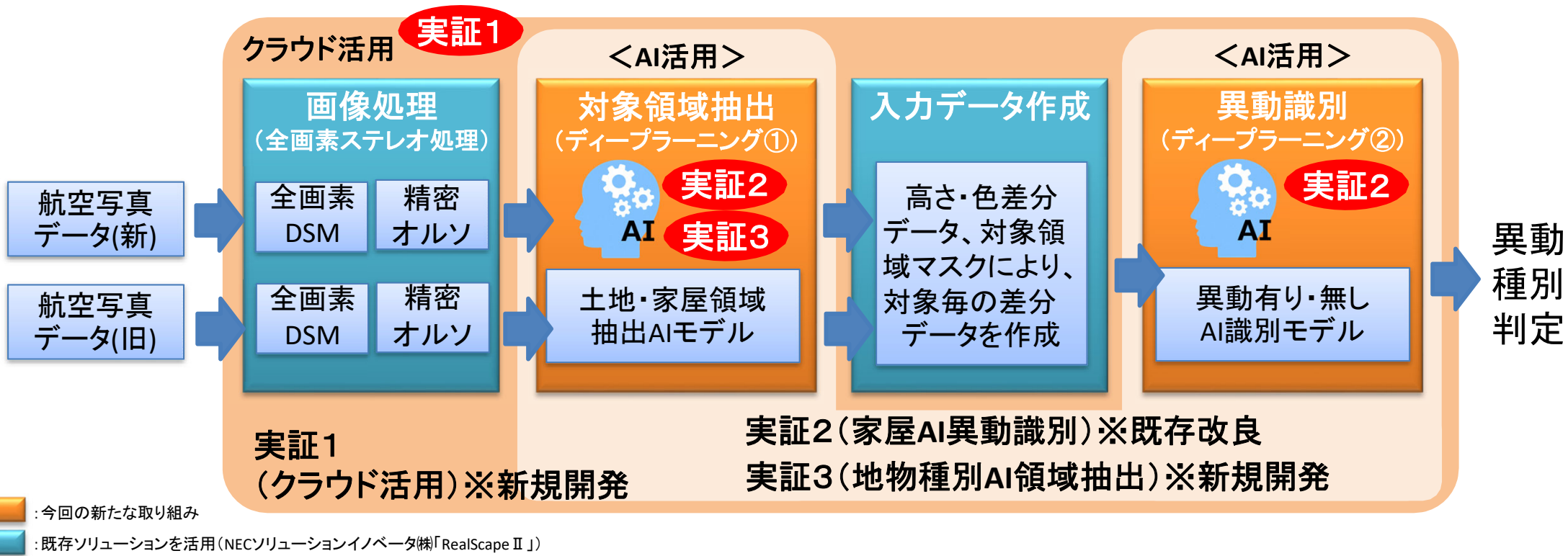
● AIを活用した「住民税の賦課修正業務」の効率化 実証、及び AI導入のための標準仕様の検討

- ・東京都練馬区（◎）
- ・東京都中央区
- ・富士通株式会社



前橋市等「固定資産税における航空写真AI解析クラウド実証」提案概要

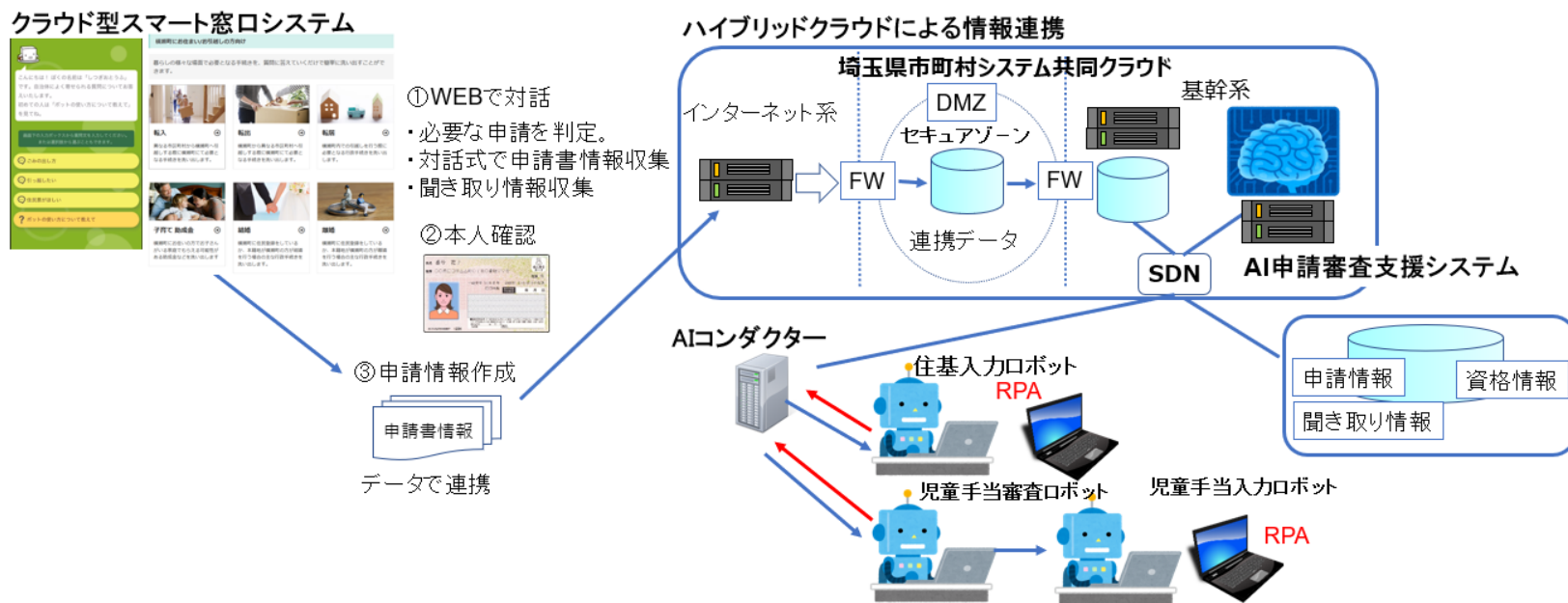
提案者	群馬県前橋市、群馬県高崎市、群馬県伊勢崎市、愛知県豊橋市、日本電気株式会社
活用データ	航空写真データ、空中三角測量成果、撮影記録データ、地番図データ、家屋現況図、等
事業概要	固定資産税事務で、航空写真データをAI解析し、課税客体把握事務の業務効率化を目指す。また、これら実証内容をクラウド上で実証する。(AWSのVPCを想定)
自治体行政スマートプロジェクトとの連携	令和2年度自治体行政スマートプロジェクトとして税務業務の標準化に取り組む予定。2つの自治体クラウドグループを核として双方の事業成果を連携させ、汎用的に活用できるAIの効率的な開発と、より多くの団体の視点による業務プロセス改善成果の最大化を目指す。
期待される効果	固定資産税課税客体把握事務のAI活用：従来の人による目視判読作業をAIを活用した異動識別に置換し、高精度かつ短期間での業務遂行が期待できるため、業務全体をとおして経費節減と業務効率化につながる。 住民サービスの向上：過大課税や課税漏れの改善、客観的取り組みによる課税公平性の確保 他自治体への展開：クラウド化により上記メリットを多くの団体(都市部団体中心)が享受



戸田市等「AIを活用したクラウド型スマート窓口の共同システム開発事業」 提案概要

提案者	戸田市、川口市、株式会社三菱総合研究所、株式会社グラファー、日本ビジネスシステム株式会社、ネットワークシステムズ株式会社
活用データ	<ul style="list-style-type: none"> ・住民異動届、児童手当、児童扶養手当等の申請書情報及び聞き取り情報 ・市が保有する税情報や各種資格情報
事業概要	AIを活用し、スマート窓口とデータの連携を行うことで業務を効率化するシステムを開発するもの。
自治体行政スマートプロジェクトとの連携	本事業では、R1【スマ】実証団体である米子市グループの「プロアクティブ型ワンストップサービスモデル（スマート窓口）」を実現するため、R1【スマ】実証報告書に基づいたプロセスをAI・RPAを用いて可能な限り自動化を目指す。R1【スマ】実証において、実証が行われなかった導入手法を引き継いで実証を行うとともに、将来的にはスマホ等からオンライン手続きで受け取りまでを来庁せずに申請が完結する仕組みを構築するもの。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン申請による市民サービスの向上・データ連携による事務の効率化 ・市民が申請書作成に要する時間90%削減、職員が審査に要する時間を96%削減

事業概要図



東京都練馬区等「AIを活用した『住民税の賦課修正業務』の効率化実証、及び AI導入のための標準仕様の検討」提案概要

提案者	東京都練馬区、東京都中央区、富士通株式会社
活用データ	税業務システム内の各種課税資料（確定申告書、給与支払報告書、年金支払報告書など）のデータ、世帯の扶養状況を把握するための住民データ、併合処理での不整合検出結果のデータ
事業概要	練馬区の実証で活用したAIを他団体にも導入可能とするための 汎用化 とAI導入による 業務効率化の実証 、及び、クラウドAIとして導入・運用するための 標準仕様を検討 します。
自治体行政スマートプロジェクトとの連携	令和元年度の神戸市グループ（神戸市・千葉市・横浜市）における、課税資料の「入力」業務のプロセス標準化とデジタル技術適用の成果を踏まえ、本事業においては、「 入力 」の次の「 計算 」業務に AIを適用 する中で、業務プロセス上の課題を抽出し、業務プロセス標準化について検討します。
期待される効果	練馬区と中央区にてAIによって賦課修正業務を効率化し、 作業時間6.5割削減 を目指します。

中小規模含めた全国の地方公共団体が安心して利用でき、業務効率化に高く貢献するクラウドAIへ

クラウドAIの活用に係る業務効率化の検証



業務効率化

【効果】中小規模の地方公共団体へのAI導入効果の実証

【検証事項】中央区にクラウドAIを導入し、作業時間削減の効果が得られることを実証

他の地方公共団体でも利用可能に
AIの仕様の汎用化

さらなる業務効率化を促進
AIの高度化

団体共通
ノウハウ学習



汎用化

【効果】全国の自治体に導入できる汎用的なAIの仕様の策定

【検証事項】仕様を汎用化したクラウドAIを練馬区と中央区に導入し、賦課修正の業務プロセスの中でAIを活用できることを検証

複数団体
データ学習



高度化

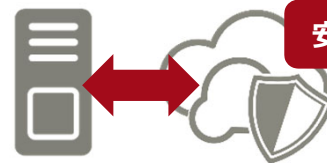
【効果】AIの予測精度/判断能力の向上

【検証事項】1団体のデータのみを学習したAIと2団体のデータを学習したAIで予測精度と判断能力を比較

クラウドAIの標準仕様及び標準的な手順の検討

安心して活用できるクラウドAIへ
情報セキュリティ対策の検討

活用しやすいクラウドAIへ
導入・運用の標準仕様検討



安心安全

【効果】地方公共団体がクラウドAIをセキュアに利用するための課題と解決策を明確化

【検証事項】机上検証にて課題と必要な対策を検討した上で、実証環境にて適切なセキュリティ対策が実施できることを検証



標準化

【効果】クラウドAIを導入するときの標準手順整備、導入後のクラウドAIをアップデートするための標準仕様を策定

【検証事項】検討した導入手順の妥当性、標準仕様の実現性と運用性について、クラウドやAIの有識者を交えて確認